

# 栗原地域だより

第 15 号

平成 26 年 8 月 25 日発行

## 目 次

- 「秋の栗原、大自然とおいしい食材生産現場見学会」の参加者募集！ p1
- 地域包括ケアに関する講演会を開催します！ p2
- くりはらの旬を楽しむ「お得なクーポン」を発行しました！ p2
- マラウイ共和国から研修生が来ました！ p3
- 農地中間管理事業が本格始動 p4
- 山林の開発を計画されている方へ p4
- みやぎ農業未来塾が開催されました p5
- 栗原農村女性リーダー研修会が開催されました p5
- スマイルサポーター募集のお知らせ p6
- 第 9 回栗原市畜産共進会が盛会のうちに開催されました p6
- 耕英東地区砂防激甚災害対策特別緊急事業が全建賞を受賞しました p7
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p8

紅葉が鮮やかな栗駒山



## 「秋の栗原、大自然とおいしい食材生産現場見学会」の参加者募集！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原地域は、二度の大きな震災を乗り越えて元気を取り戻しつつあります。その一方で、いまだに農林水産業における放射能の風評被害は深刻です。このような風評被害を払拭し栗原の森の恵みをPRするため、「秋の栗原、大自然とおいしい食材生産現場見学会」を開催します。素晴らしい栗原の秋を満喫できるまたとない機会となりますので、ぜひご参加ください。



昨年春に開催した見学会の様子

### ●見学内容

- ①岩手・宮城内陸地震による大規模地滑りの状況とその復旧状況見学
- ②世界谷地原生花園とその周辺ブナ林の紅葉観察（トレッキング）
- ③岩魚の養殖状況の見学（昼食は栗駒耕英「岩魚丼」）
- ④なめこ生産施設の見学と収穫体験、なめこ料理の試食

●開催日時 平成 26 年 10 月 18 日（土） 午前 8 時から午後 6 時まで

●集合場所 仙台駅東口貸切バス駐車場（午前 8 時まで集合）  
または県栗原合同庁舎駐車場（午前 9 時 20 分まで集合）

●募集人数 20 名（先着順）

●参加費用 1,500 円（昼食代等）

●申込方法 9 月 26 日（金）までに参加される方の住所、氏名、年齢、連絡先（電話番号、E-mail アドレス等）、乗車希望場所（仙台駅もしくは県栗原合同庁舎）を下記宛てに御連絡下さい。

■お申し込み・お問い合わせ 林業振興部 林業振興班

〒987-2251 栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2381 Fax：0228-22-5795

E-mail：nh-khnr-rg@pref.miyagi.jp（可能な方は E-mail での申し込みをお願いします。）

地域包括ケアに関する講演会を開催します！

テーマ「いつまでも安心して暮らせるまちづくりを考える」

北部保健福祉事務所栗原地域事務所

我が国は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進み、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。高齢で介護が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、全国でその地域に合った「地域包括ケアシステム」を構築することが必要とされ、各地域で取り組みが始められています。



「地域包括ケアシステム」とは何か、我がまちの「地域包括ケアシステム」をつくるために住民一人ひとりができることは何か、専門の先生のお話をぜひお聞きください。

- 日 時 平成26年9月4日(木)  
午後2時30分から4時まで(受付開始 午後1時30分から)
- 場 所 栗原文化会館 大ホール(栗原市築館高田2丁目1-10)
- 講 師 独立行政法人国立長寿医療研究センター  
在宅連携医療部長 三浦久幸氏(医師)
- 参加費 無料
- 申し込み 9月3日(水)までに、下記宛て、電話またはファクシミリでお申し込みください。

■お申し込み・お問い合わせ 北部保健福祉事務所栗原地域事務所 成人・高齢班  
Tel: 0228-22-2116 Fax: 0228-22-7594

くりはらの旬を楽しむ「お得なクーポン」を発行しました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

伊豆沼・内沼のはすまつりが8月31日まで開催されています。

「くりはらの旬を楽しむお得なクーポン」は、伊豆沼・内沼の「はすまつり」を始めとするイベントのPRと、来場したお客様が楽しみながら栗原市内を周遊していただくことを目的として、発行しています。

夏から秋の栗原は見どころ、食べどころ満載です。ぜひこの機会に、クーポンを活用しながら栗原市内を周遊してみませんか？

- 実施期間  
平成26年8月1日(金)から10月31日(金)
- クーポン利用可能店舗等  
栗原市内27事業者(飲食店、温泉・宿泊施設、おみやげ処、農産物直売所等)



クーポンのPRポスター

## ● 特典

入場料、飲食代の割引、ソフトドリンク、アイス等のサービス

## ● 配布先

(栗原市内) 道の駅、クーポン協力事業者、JR くりこま高原駅、レンタカー会社 ほか  
(栗原市近隣) 道の駅、観光協会(気仙沼・南三陸・登米・大崎・大衡・松島等) ほか  
(県関係機関) 県内各地方振興事務所(地域事務所)、宮城県観光インフォメーションセンター など

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel: 0228-22-2195

マラウイ共和国から研修生が来ました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

マラウイ共和国はアフリカ南東部に位置し、国土面積は日本の約 3 分の 1 で、人口約 1,600 万人の国です。農業を基幹産業としていますが、年間雨量の 90% が 11 月から 4 月の雨期に集中し、食料増産のために乾期における水の確保が課題となっています。

このため、国際協力機構(JICA)の「草の根技術協力事業」の一環として、マラウイ共和国テッサ県の研修生を受け入れ、農業用の用排水路などの施設を構築し、管理する技術者の能力向上を図っています。

宮城県では平成 23 年から研修生を受け入れており、今年度は男性 4 名の研修生が来日し、7 月 22 日から 8 月 8 日までの研修期間中、栗原管内では 2 日間の研修を受けました。

研修 1 日目は、伊豆沼の歴史的な経緯、および干拓手法などの講義を受け、その後は、現地を視察し、理解を深めました。

2 日目は現地測量の研修となり、トータルステーション<sup>※1</sup>などで測量を実施し、時折、質問を交えながら、基礎技術を真剣に学びました。さらには、農家を訪問して、ミニトマト園やカボチャ畑を視察し、循環型農業<sup>※2</sup>についても学びました。

今回の研修は、技術的な支援のみならず、日本とマラウイ共和国との友好を深める意味でも、大変有意義な機会となりました。

※1 トータルステーション…測量機器の一つで、距離と角度を同時に観測することができる。

※2 循環型農業…家畜の糞を堆肥に加工し、堆肥で野菜や穀物を育て、野菜屑や穀物を再び家畜の飼料にするといった持続的な農業



現地測量研修



農家訪問

■お問い合わせ 農業農村整備部 農地整備第一班 Tel: 0228-22-2401

## 農地中間管理事業が本格始動

～農地の貸付希望者（出し手）と借受希望者（受け手）の募集が始まりました～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

今年度、国の新たな農業支援制度として、農地中間管理事業が始まりました。

県は、同事業の推進機関となる「農地中間管理機構」として、3月28日に、（公社）みやぎ農業振興公社を指定しました。農地中間管理機構では、①農地の借受け、②必要な場合は、簡易な条件整備を実施、③担い手（認定農業者等）への農地集積に配慮し貸付けを行います。

また、農地中間管理事業では、①まとまった農地を貸し付けた「地域」及び②農地を貸し付け、担い手への農地集積・集約化に協力する農地の「貸出者」（出し手）を交付対象者として、国が機構集積協力金を交付します。

8月7日、栗原市の主催で市内3箇所（若柳、栗駒、築館）において農地中間管理事業に関する説明会が開催され、多くの方が参加し、活発な質疑が行われました。

第1回目の農地の借受希望者（受け手）の募集は7月10日から8月11日まで行われ、9月には第2回目の募集が行われる予定です。また、農地の貸付希望者（出し手）の募集も随時行われています。

農地の貸付けや借受けを希望する農家の皆さまは、当所（農業振興部）、市役所、農業委員会又はJAに御相談ください。

■お問い合わせ 農業振興部 地域調整班 Tel：0228-22-2268

## ～山林の開発を計画されている方へ～

ー林地開発許可制度についてー

北部地方振興事務所栗原地域事務所

森林は、木材などの林産物供給のほか、水源のかん養<sup>\*</sup>、山地災害の防止など、様々な公益的機能を有しており、私たちの生活に欠かすことのできない多くの役割を果たしています。

このため、森林を開発する場合には、こうした森林の持つ機能への影響を最小限に食い止めるため、ルールが定められており、以下の基準に該当する場合は、事前に知事の許可が必要です。

### ●林地開発許可の対象となる森林

国有林を除く民有林（森林法第5条に規定されている森林）の内、保安林に指定されている森林以外の全ての森林が対象となります。

### ●林地開発許可の対象となる開発行為

土地の形質を変更し、森林以外に転用する行為（住宅や工場の造成、土石の採掘、道路、土捨て場など）で、1haを超える開発行為が対象となります。

また、最近、太陽光発電施設に関する相談が増えています。土地の形質の変更が少ない場合でも、1haを超えると許可が必要です。

詳しくは、下記お問い合わせ先にご相談ください。

※水源のかん養…雨水を吸収・保水し、流れ出す水の量を調節・平準化する作用

■お問い合わせ 林業振興部 森林管理班 Tel：0228-22-2133

## みやぎ農業未来塾が開催されました

～栗原農業を担う未来の社長が、先輩社長に学ぶ！～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原地域の農業を担う青年農業者 11 名を集め、平成 26 年 8 月 5 日にみやぎ農業未来塾を開催しました。今回は、青年農業者の農業経営力向上支援の一環として、経営戦略を持つことの重要性を啓発するため、栗原市栗駒地区でタイプの異なる 3 つの水稻経営体を訪問して、それぞれ特徴ある経営戦略を学びました。

最初に訪れた、大規模個人経営体の伊藤基夫氏からは、綿密な作業スケジュールのもと大型・高性能の農業機械をフル活用することで、家族経営で大面積の作業を可能にしている経営について、次に、(有)狩野農友の狩野常幸取締役からは、米の自社生産に加えて、集荷販売、米検査業務、水稻育苗培土の製造販売など、安定経営に向けた多様な収入源を確保している経営についてお話をいただきました。最後に、(株)吉尾ファームの吉尾三郎代表取締役からは、もち加工事業の展開経緯や、大規模な設備投資を行う前に、販路をしっかりと確保しておくことの重要性などについて、お話をいただきました。

塾の参加者は、優れた経営者の経営のあゆみと、生産や販売に対する考えに耳を傾け、法人化の意義、経営面積の拡大、農産加工品の新商品開発などについて、熱心に質問し経営戦略のヒントを探っていました。



伊藤基夫氏に学ぶ



(有)狩野農友に学ぶ



(株)吉尾ファームに学ぶ

■お問い合わせ 農業振興部 地域農業班 Tel：0228-22-9404

## ～栗原農村女性リーダー研修会が開催されました～

地域を担う女性リーダーが沿岸被災地で復興に取り組む企業を視察

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市内では、地域の女性リーダーの資質向上を図ろうと、平成 20 年度に、栗原市生活研究グループ連絡協議会や JA 栗っこ女性部、栗原市農業委員会、認定農業者など各種女性組織や個人・団体の枠を越えて、地域を担う女性農業者同士の情報交換や交流を行うグループ「栗原女性ネットワーク『くりネッ娘』」が設立されています。

去る平成 26 年 7 月 18 日(金)に、くりネッ娘の視察研修(栗



田所食品(株)での視察研修

原農村女性リーダー研修会)が行われました。当日は、女性農業者36名が参加し、起業や地域活動の参考となる先進事例の調査や、東日本大震災からの復興状況を視察するため、山元町のぶどうジュース製造施設(田所食品株式会社)やいちご生産施設(山元いちご農園株式会社)を訪問しました。

参加者は、会社の再建、施設の復旧、農業生産の再開、担い手育成など、地域経済の再生に対する両社長の熱い思いに感慨深く聞き入り、栗原地域で自らが果たすべき役割を再認識し、決意を新たにしていました。

栗原農業改良普及センターでは、10月から女性起業支援として企画力や事業計画策定、交渉力、営業力向上などの養成講座を計画しています。こうした、地域の女性リーダーの資質向上や地域活動に興味、関心をお持ちの方は、下記宛てお問い合わせください。



山元いちご農園(株)での視察研修

■お問い合わせ 栗原農業改良普及センター 地域農業班(本多、鈴木) Tel:0228-22-9404

### スマイルサポーター募集のお知らせ

北部土木事務所栗原地域事務所

県では、ボランティアで道路や河川の除草・清掃・緑化作業を行い、良好なまちづくりに積極的に取り組む個人・団体を「スマイルサポーター」として認定し、活動を支援しています。現在、当事務所管内では、スマイルロードサポーター34団体、スマイルリバーサポーター6団体が活動しています。



イメージキャラクター

新たに地域での活動を行っていかうとする意欲のある方々はもちろん、これまで道路や河川の清掃・緑化作業を地道に続けてこられた方々も、サポーター旗や草刈り鎌等の提供を受けることができたり、傷害保険への加入を通じて作業時の万一の事故などに備えることができるなどのメリットがあります。制度について詳しく話を聞いてみたい方は、下記宛てお問い合わせください。

■お問い合わせ 行政班 Tel:0228-22-2174(佐藤)

### 第9回栗原市畜産共進会が盛会のうちに開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成26年7月5日(土)、栗原市築館のJA栗っこ畜産センターにおいて、第9回栗原市畜産共進会(主催:栗原市農業振興協議会)が開催されました。昨年、平成29年9月に本県で開催が予定される全国和牛能力共進会宮城大会に照準を合わせて開催されており、出品者にも力が入っています。

乳用牛は5つの審査部門に30頭の牛が出品され、花山地区の野村泰仁さんが所有する「シエリーデイストライ スレット号」が名誉賞及びベストアダー賞を受賞しました。肉用牛は個体審査部門に37頭、

群出品部門に 12 組 30 頭の牛が出品され、花山和牛改良組合の佐藤利郎さんが所有する「ひな号」が名誉賞を、瀬峰和牛改良組合が団体賞を受賞しました。

乳用牛の部では若いリードマン（牛の引き手）が多数活躍し、大会に花を添えました。また、肉用牛の部の入賞牛は、9月13日（土）に美里町の「みやぎ総合家畜市場」で開催される県共進会へ出品される予定です。



乳用牛の部で受賞した皆さん



団体賞を受賞した瀬峰和牛改良組合の皆さん

■お問い合わせ 畜産振興班 Tel：0228-22-2487

### 耕英東地区砂防激甚災害対策特別緊急事業が全建賞を受賞しました

北部土木事務所栗原地域事務所

平成 20 年 6 月の岩手・宮城内陸地震による土石流で甚大な被害を受けた栗駒耕英東地区において、昨年 10 月に完了した砂防激甚災害対策特別緊急事業が平成 25 年度全建賞を受賞し、6 月 27 日（金）に東京で授賞式が行われました。

全建賞は、建設技術の発展に寄与することを目的に昭和 28 年に創設され、毎年、建設技術の活用や特徴的な取り組みに対し、一般社団法人全日本建設技術協会より関係機関に授与されています。平成 25 年度は過去最多となる 297 事業の推薦の中から 60 事業が選出されました。

今回の受賞は、豪雪地帯で地質が脆い<sup>もろ</sup>現場において、施工方法の工夫等により事業を早期に完了させたことや、地域住民等が中心となり植樹活動を行うなど地域と連携した取り組みが高く評価されたものです。

大変光栄な賞を受賞することができ、改めて関係者や地域の皆様方のご協力とご支援に感謝し、厚く御礼申し上げます。

■お問い合わせ 河川砂防班 Tel：0228-22-2193



砂防事業完了後の状況(H26.5月撮影)



全建賞の表彰状と表彰楯

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 26 年 6 月 21 日～8 月 15 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

これから食欲の秋を迎え、農林産物がおいしい季節がやってまいります。6 月 21 日から 8 月 15 日までの間に農林産物 29 点を簡易検査したところ、すべて基準値（100 ベクレル/kg）以下でした。また、基準値の 2 分の 1（50 ベクレル/kg）を超えたものもなかったので精密検査の必要はありませんでした。このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して、安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

なお、野生きのこは、高濃度の放射性物質が検出される可能性があるとともに、毎年、食用のものと非常によく似たきのこによる食中毒事故が起きておりますので、安全が確認されていないものは絶対に食べないでください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの（6 月 21 日～8 月 15 日）

農産物				農産物			
品名	点数	施設	露地	品名	点数	施設	露地
いんげん	1	—	◎	つるむらさき	1	—	◎
うめ	2	—	◎	トマト	2	◎	◎
えだまめ	1	—	◎	なす	2	◎	◎
かぼちゃ	1	—	◎	にんじん	1	—	◎
キャベツ	2	—	◎	ねぎ	1	—	◎
ゴーヤ	1	—	◎	白菜	1	—	◎
コールラビ	1	—	◎	プラム	1	—	◎
ししとう	1	◎	—	米なす	1	—	◎
じゃがいも	1	—	◎	ほうれんそう	1	—	◎
ズッキーニ	3	—	◎	ミニトマト	1	—	◎
セロリ	1	◎	—	もも	1	—	◎

林産物				
品名	点数	施設	露地	野生
マタタビ	1	—	—	◎

◎：基準値以下      —：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値	
食品群	基準値(1kg あたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を  
ご覧ください。

[http://www.mhlw.go.jp/shinsaai\\_jouhou/shokuhin.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsaai_jouhou/shokuhin.html)

- お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物について）  
林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物について）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：[nk-khsinbk@pref.miyagi.jp](mailto:nk-khsinbk@pref.miyagi.jp)

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 16 号）は 11 月 4 日発行予定です。